

麻しん(はしか)の発生について【第1報】

2025年5月1日(木)午前6時頃、当院の救急外来を受診された患者さんが、麻しん(はしか)陽性と診断されたことが判明し、管轄保健所に報告するとともに、その指導のもと、現在、調査等を進めております。

当該患者さんは、すでに適切な隔離対応を行っており、現在、感染の拡大防止に向けた措置を講じております。

罹患された患者さんの受診状況は次のとおりです。

- (救急外来) 2025年4月27日(日) 11時20分～13時の間
- (通常外来) 2025年4月28日(月) 11時10分～14時30分の間
- (救急外来) 2025年4月30日(水) 15時45分～18時15分の間

なお、罹患された患者さんとの接触日等から潜伏期間と考えられる21日目までは、体調に留意していただき、麻しん(はしか)を疑う症状(発熱、発疹、咳、鼻水、目の充血等)が現れた場合は、必ず事前連絡の上、医療機関を受診いただきますようお願い申し上げます。(代表電話番号・救急外来:078-231-6006)

麻しんは感染力がきわめて強い感染症で、感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れ、2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現すると言われております。

一方で、予防接種されている場合は、予防できている可能性は高いと言われております。皆さま方にはご心配とご迷惑をお掛けいたしますが、これからも保健所をはじめとする行政の助言、指導に基づき、感染拡大防止に努めてまいりますので、何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年5月2日

神戸赤十字病院 院長 築部 卓郎

お問い合わせ先

(時間: 9時～17時 / 5月連休中も対応)

神戸赤十字病院 (専用)TEL 078-241-9207